

Student Voice

看護学研究科 母性看護学分野

大学 勤務(教員)

現在のお仕事内容は？

大学の母性看護学領域で助手として働いています。講義や演習の準備や実践、実習の引率を行っています。



森本 桃茄さん

2026年度入学者

大学院ではどのようなことを学んでいますか？

現在は研究手法を一から学んでいます。また、マタニティヨガインストラクターの資格をいかし、妊娠中の運動に対する妊婦の認識や、助産師の支援の在り方についてをテーマに研究を進めたいと考えています。

大学院の学習でお仕事で役に立つ内容(知識、スキルなど)はありますか？

国内外の文献を幅広く学ぶことで、これまで自身になかった知見を得ることができました。例えば、日本だけでなく海外の妊婦の運動に関するガイドラインについても学び、その内容を学生インについて学び、その内容を学生への教育に活かしています。また、母性看護学を取り巻く最新の同行や研究成果を学ぶことで、新たな知見を学生へ還元できています。

大学院修了後の目標や将来の展望があればご記載ください。

将来的には、自身で運動プログラムを考案し、妊婦がより前向きに運動へ取り組めるよう支援していきたいと考えています。また、教員としてもさらなるスキルアップを図り、研究で得られた知見を教育へ還元していきたいです。

本学大学院進学のかっかけは？

臨床で助産師として勤務していた頃は、日々の業務に向き合う一方で、自身の実践を振り返る時間を十分に持てずにいました。そんな中、学生時代の恩師から大学教員への道を示していただき、教員として働き始めました。臨床を離れたことで、これまでのケアを改めて見つめ直し、実践を客観的に評価したいという思いが強くなりました。疑問のまま終わらせていたことを自ら探究し、その成果を臨床へ還元したいと考え、大学院進学を志望しました。また、学部4年間で学んだことを再学び直し、専門性を高めたいという思いから進学を決意しました。

大学院での学びを通してご自身に何か変化はありましたか？

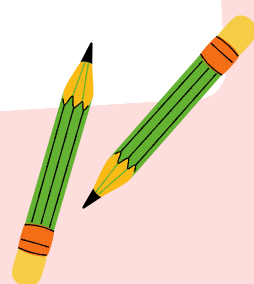
一番大きな変化は、自身の言葉に説得力が増し、自信を持って発信できるようになったことです。以前は、根拠を十分に理解しないまま慣習的に実践していたこともありましたが、大学院で学ぶ中でエビデンスを意識するようになり、現在では根拠となる文献や研究成果に基づいて、自信を持って発信できるようになりました。

~ WEEKLY SCHEDULE ~

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 時
月曜日			勤務（通勤含む）													自宅学習			
火曜日			勤務（通勤含む）													自宅学習			
水曜日			勤務（通勤含む）													自宅学習			
木曜日			勤務（通勤含む）													自宅学習			
金曜日			通学学習		ゼミ				図書館で学習					家事	自宅学習				
土曜日			通学学習		講義									友人と交流		家事			
日曜日			通学学習		講義									自宅学習					

学ぶ時間を確保するために工夫している事がありますか？

通学時間が片道1時間程度かかるため、その時間も有効に活用し、文献を読んだり講義内容を振り返ったりしながら学習時間を確保しています。また、毎週金曜日はゼミの日として有給休暇を取得し、帰宅せずに図書館で学習や課題に取り組む時間を設けています。



働きながら大学院で学ぶ中で大変なことはありますか？

やはり時間の調整が最も大変だと感じています。入学当初は、日々の業務に追われる中で学習スケジュールを立てることが難しく、仕事と学習を両立しながら通学できるのか不安に感じていました。しかし、職場の方々の理解やサポートのおかげで、困ったときにはいつでも相談できる環境が整っており、大変ありがたく感じています。また、家族の理解も大きな支えとなっており、安心して学業に取り組むことができています。

進学を検討している方へメッセージをお願いします！

大学院での経験は、きっと何にも代えがたい貴重な経験になると思います。新しい知見や考え方に出会う第一歩にもなりますので、進学を迷っている方は、ぜひ勇気を持って一歩踏み出してみてください！！

student Voice

看護学研究科 博士前期課程

がん看護専門看護師分野(CNSコース)



山田 茉弥さん
2025年度入学者

大学院ではどのようなことを学んでいますか？

CNSコースでは、専門看護師としてさまざまな臨床上の課題に取り組むために、がんの病態生理・治療、看護の基盤となる理論や概念について学んでいます。

大学院での学びを活かしてどのような将来像を描いていますか？

大学院で得た知識・技術を活かして、患者様の価値観に寄り添いながら医療者との橋渡しを行い、がん患者さんにとって最善の意思決定や療養生活が送れるような支援ができる専門看護師になりたいと考えています。

本学大学院進学のかっけは？

臨床で進行がんや終末期の患者様と関わる中で「その人らしく生ききる」の重要性を実感しました。痛みや不安、退院後の生活などのさまざまな課題に直面する中で、自分の知識と技術の限界を感じる場面が多くありました。がん看護専門看護師として、より専門的な知識を身につけ、患者様にとって最善の支援ができる看護師を目指したいと思い、大学院進学を決意しました。

~ WEEKLY SCHEDULE ~

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 時
月曜日				友人と交流						家事						
火曜日			自宅学習							家事					自宅学習	
水曜日					講義					家事					自宅学習	
木曜日					講義					家事					自宅学習	
金曜日					講義					家事					自宅学習	
土曜日					講義						家事				自宅学習	
日曜日					講義											

学ぶ時間を確保するために工夫している事がありますか？

看護学課題研究・高度実践領域(CNSコース)は、基礎研究領域と違い履修単位数が多く必修で実習もあるため、働きながらの学業は困難であると判断し休職することで学ぶ時間を確保しました。